
「ストルーブテストを用いた肝硬変患者における不顕性脳症を有する患者の特徴と予後不良リスク因子に関する研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療記録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2021年9月1日から2024年1月31日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、肝硬変と診断され、栄養指導を受けたときにストルーブテストを実施した20歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

不顕性脳症を示す肝硬変患者さんの臨床的特徴と臨床経過を解析し、不顕性脳症と診断された患者さんの特徴と、治療対象となりうる患者さんを明らかにする。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年5月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

年齢、性別、肝疾患の成因、内服薬、実施されている血液検査値、カルテに記載されている自覚症状・身体所見・研究対象者背景・臨床経過について、ストルーブテストの結果における不顕性脳症の有無別に解析を実施します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である持田智が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

電子カルテから患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 持田 智（研究責任者）

埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	富谷	智明
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	今井	幸紀
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	中山	伸朗
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	水野	卓
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	菅原	通子
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	中尾	将光
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	安藤	さつき
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	内田	義人
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	相馬	直人
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	辻	翔平
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	山田	俊介
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	佐藤	彩
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	碓氷	七瀬
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	内木	佳代子
埼玉医科大学病院	消化器内科・肝臓内科	神山	淳一

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 内田 義人
住所：350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
電話：049-276-1198（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：ストルーテストを用いた肝硬変患者における不顕性脳症の診断とリスク因子に関する研究

○研究責任者：埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 持田 智